

未来の働き方を見据えたデジタルスキルと適応力の育成に取り組んでいます。

目標
プログラミング学習を活かしたデジタル人材の育成
工業・商業・福祉分野と連携した農業分野におけるDX推進
デジタルを主軸とした教科横断的な学習（情報Ⅱを含む履修率20%）

整備機器



ドローン



プログラミング
ロボット



農場監視システム

○実習、課題研究、課外活動で活用

成果
・デジタル機器や学習環境の整備ができた。
・地域課題の解決に向けた探究的な学びが定着しつつある。
・プログラミングやDXに関する基礎的理解が深まった。

取組内容

・実習でのドローン学習
実習環境を俯瞰的に把握し、画像・映像データを継続的に記録・蓄積することが可能。また、プログラミングによる自動航行や農薬散布量の調整等を通じて実社会で活用されている先端技術に触れDX教育の推進につなげることを狙いとした。



・課題研究における地域課題解決に向けた取り組み
端末による遠隔監視を活用し、授業において教室から生産物を確認できる学習環境を整備した。
害獣等の地域課題をデジタル機器の活用で捉え直す学習機会の創出につなげた。



DX講演（1年生対象）

DXの概要および生成AIに関する講話を実施し、デジタル技術の役割や変化について理解を深める機会を設けた。あわせて、生成AIの活用事例や留意点に触れることで、先端技術を適切に活用するための基礎的な考え方を学んだ。

今後の取組方針

- ・DX機器を活用した学習の継続・深化を図る。
- ・理系大学との連携
- ・データ活用やプログラミングを取り入れた探究的な学びを推進する。
- ・専門授業の中にDXに関するカリキュラムを導入する。